

(4) ごみを生かす

ごみをしまつするためには、多くの労力や費用がかかります。また、ごみを埋め立てる場所もだんだん少なくなってきました。

★ ごみを少なくするにはどうすればよいでしょう。



▲再生利用したもの

エコマーク

「わたしたちの手で、地球を、環境を守ろう」という気持ちをあらわした、環境保全に役立つ商品につけられるシンボルマークです。

グリーンマーク

古紙を原料とした紙製品をたくさんの人に利用してもらい、リサイクルのよいところをわかってもらうためにできました。

ごみ減量化協力店
うつくしま、エコ・ショップ

福島県内で、ごみの減量化・再生利用を目的とした取組を行っている認定された小売店につけられるシンボルマークです。

▲環境にやさしい商品も開発されています

1世帯の1年間の新聞紙の重量約70kg

高さ8m直径14cmの木
約1.5本に相当

古紙、1000kgを回収すると20本の木を切らずにすみます。

●再生利用とは、一度使われて捨てられてしまうものを、もう一度新しいものにつくりなおして使えるようにすることです。リサイクルともいわれます。地球の資源には限りがあります。自然環境を守るためにも、ごみを減らす工夫が大切です。